

# 道写協

## 北海道写真協会

事務局 ■札幌市中央区大通西3丁目6道新文化事業社内  
011-210-5735(直通) 011-207-3939(FAX)  
<http://www.doshakyo.org/>

第136号

### 写真道展大賞に輪島礼子さん「落し物」 第65回写真道展審査会報告

#### ■応募の状況

第65回写真道展、第36回学生写真道展の審査会が3月3日、4日の両日北海道新聞社で行われました。応募総数は5、169点、前回よりも240点少なく又応募者も402名で前回よりも26名少ない状況になりました。道写協会員の応募者も年々減少しており、今回は170名(一般232名)となっております。

審査員は米美知子審査委員長を含め19名体制の多数審査で、第三部のネイチャーは米審査委員長の新風がどう吹き込まれるか期待が高まる審査となりました。又、第36回学生写真道展への応募数は1、094点で前回よりも46点少なく、応募者数も415名と前回より23名少ない状況でした。第1日目の審査は午前中に学生写真道展審査が行われ、阿部悦子審査委員長の下で第36回学生写真道展の最高賞北海道知事賞は二年連続で渡辺華練さん(千歳北陽高校)の「みつめ



審査会ミーティング風景

る」に決定となりました。午後からは本展審査の第一部、第三部の第二次審査まで行い、次に会友奨励賞、会友準奨励賞の選考に入り、選考対象作品54点を本郷正利会長が奨励賞選考委員長を務め計4名の選考委員により選考が行われ、会友奨励賞は川原静雄さん(小樽支部)の「面を打つ」に決定しました。

会友準奨励賞は岡本雄毅さん(釧路支部)の「丘の詩」、高橋省三さん(小樽支部)の「テールライト」の2作品が選考されました。過密なスケジュールの中、二日目の審査が終了しました。



審査風景

#### ■審査は整然と厳正に進行

二日目午前中は第三次、第四次審査を行い、入賞・入選270点が選考されました。午後から第五次審査へと進み入賞作品26点が決定しました。第六次審査は米審査委員長の選考で、第一部(自由)で輪島礼子さん(岩見沢支部)の「落し物」が第65回写真道展大賞・文部科学大臣賞に選ばれました。

最後に第66回写真道展に向けた作品作りと多数の応募を心よりお待ちしております。二日間の厳正過密な審査スケジュールにも関わらず、審査委員長を始め審査員の皆様、進行委員、並びに事務局の方々のご協力により無事審査を終えることが出来ました事に感謝申し上げます。審査会報告とさせていただきます。

写真道展実行委員長 瀧野 邦保(記)

## 心に残る旅がある

心の印画紙に焼き付けたい旅があります。  
旅の出会いはフォトジェニック。  
カメラ片手に出かけてみませんか。

◆お問い合わせ・お申し込みは  
**TEL(011)241-6401**  
ホームページ <http://www.doshinkanko.com/>

営業時間  
月~金曜日 9:30~18:00  
土曜日・日曜日・祝日は休業

旅行企画・実施  
安心と信頼の

# 道新観光

〒060-0042 札幌市中央区大通西3丁目道新ビル北一条館1階 道新プラザ内

# 驚きと喜びと！ 第65回写真道展



写真道展大賞

岩見沢支部

輪島 礼子

## 一期会を大切に

伝統と高い実績を誇る第65回記念道展に、身に余る大賞を頂き感謝すると共に、道新文化センターに10年通い続けており、道写協の例会で勉強させていただき先生、写友のお力をお借りして受賞出来ましたことを深く感謝申し上げます。



第65回写真道展大賞 「落し物」

この作品は、札幌地下歩道で、非日常的な自然の雄大な絶景のポスターに出会い心を惹きつけられ、後日カメラを持ってゆき歩行者の思いもよらぬ動きが面白く、シャッターを何百枚も切り続けた一枚です。この賞を励みに、更に向上できるように楽しみながら努力したい

と思っています。



会友奨励賞

小樽支部

川原 静雄

## あきらめずにチャレンジ

この度、会友奨励賞を受賞し、驚きと喜びそして感激でいっぱいです。常日頃ご指導いただきました諸先輩や仲間の皆様、心から感謝申し上げます。



会友奨励賞 「面を打つ」

写真道展に初めて応募してから16年目で会友となり、審査会員を目指して奨励賞に挑戦してきましたが、非常にハードルが高く、この度の受賞まで11年がかかりました。目標を目指しながらも、ほかの趣味もあつて幾度か波がありました。あきらめずにチャレンジし、継続してきたことが新たなモチーフとの出会いとなり、受賞につながった

のと思っています。

今後とも仲間の皆様と和気あいあいと楽しみながら、写真を撮り続けるとともに、微力ながら写真の普及・発展に活動して参りたいと思っています。



母娘夫婦3人で

函館支部

土田多江子

夫 土田 弘志

母 岩佐 敏子

## 三人揃って切磋琢磨

昨年私たち母娘夫婦は初めて三人同時入選することができ、最初で最後かもと話し合っていました。

今年は隣町に住む母に二席と入選の知らせが届いたのですが、私達には翌日になつても届かず、夫婦してダメだったのかと肩を落としてました。そんな折、「皆さんで入賞の喜びのコメントをお願いします」とのお知らせを頂いた時は、俄かには信じられず、まるで逆転ホームランのような思いでした。結果は夫婦とも、一部三部でそれぞれ初の二部門ずつ入選達成と自己最高記録を更新出来ました。

まだまだ母の二席には追い付けません。三人誰一人欠けることなく入賞できたことの喜びは三倍嬉しく、来年は三連続三人入賞が出来るよう、無理せず頑張つて写真生活を楽しみたいと思います。

函館支部の例会には、いつも3人揃って出席し、切磋琢磨です。



3部門入選

札幌支部

大野 信子

## 時には挫け、時には喜び

昨年引き続き3部門入選のお知らせに驚き、とても嬉しく思っております。これも御指導いただきました先生や写真仲間との出会いのおかげと心より感謝しております。

写真歴は一眼レフカメラから始め十年程になります。初めの頃はシャッターを押すだけで深くは考えずに楽しんでおりました。しかし近年は表現やプリント等も大切と考えています。

何にでも興味があり得意分野は特にありませんが、被写体を求め試行錯誤しながら真剣に取り組んで行きたいと思っております。札幌支部へ入会して七ヶ月ですが、例会での皆様の作品に驚き感動しとても勉強になります。

時には挫け、時には喜び、健康に留意しながら楽しく写真を撮り続けられる自分でありたいと思います。

## 写真道展

札幌道新ぎやらりー

5月17日(木)〜22日(火)

10時〜7時

以後 道内各地巡回展



# 追悼

## 「大雪」を表現 志賀芳彦先生逝く

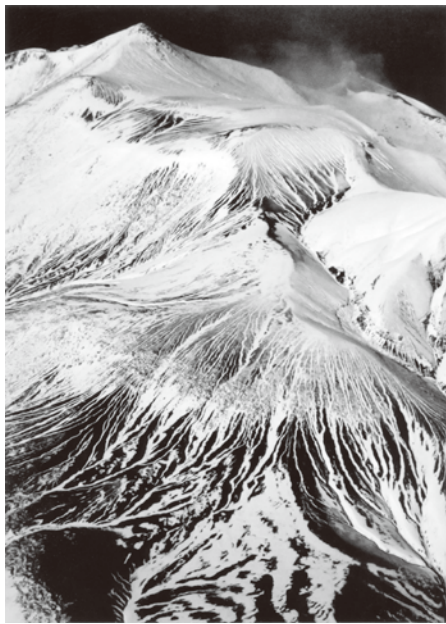
### ■生い立ちと出会い



昭和4年、オホーツクの西興部に生まれ、父を早くに亡くし、青年期は湧別町で会社事務一家を支える。のちに鮭の運搬等で旭川へ通

う途中に仰ぎ見た雄大な「大雪の山」に魅了され、この感動と衝撃が、将来を決定づける運命的な出会いとなりました。その後、大雪への写欲が募り、上川へ移住し大雪へ足を運ぶようになる。我が家を建て奥様と結婚され、写真屋さんを始めることとなります。

まだロープエイもない時代に、かんじき・ツボ足で50キロもの機材と食料を背負い、風雪や寒さに耐えながらの撮影では、クマとの遭遇や飢えと寒さで生死にかかわる目にも何度も



写真集「大地の鼓動」から(カラー)

出会い、その度に自身の経験に裏打ちされた多くの学びで難を逃れました。当時は携帯も無線も自由には持てなく、生きている自然を独学で学んだ先生の知恵と創造力、鋭敏な感覚こそが頼りでした。

### ■旭川支部を愛し続けた指導者

時は移り、仲間と共に昭和44年6月1日(写真の日)を期して北海道写真協会の「旭川支部」を設立。当時は本部から故及川清治郎氏等が招かれ、大いに論議し闊達に学び合ったそうであります。

先生は、「大雪」の写真家として活躍する一方で旭川支部の育成に全力を傾けてくれました。創設時から半世紀も、上川町から旭川まで往復90キロ余を毎月の例会に欠かさず出席され、熱心に助言をしてくださりました。先生のその「志」は支部の伝統として、新しい会員達へ伝え繋げていかなくてはと思っています。

### ■集大成「大地の鼓動」

息子さんの操縦で大雪のフライト撮影も続けられ、地上からと空撮で捉えた大雪の写真集「大地の鼓動」の中で、「生きていく自然との語り」「瞬の決断、たくさんの人との出会いが多くの感動を生み、幾度となく心躍る瞬間に出会えた。」と結んでおられます。

「地方に住み、風土に根ざし、透徹した目を持って撮影し続けている写真家」と志賀先生を評するのは、

40代の折に師事された写真家・白川義員先生です。

旭川支部創立50周年記念式典の6月1日を目の前に、昨年12月3日88歳で旅立たれた志賀芳彦先生を偲び、あらためて感謝と心よりのご冥福をお祈り申し上げます。(審査会員 福田光男)

## 追悼 吉江和幸先生



今年2月18日病氣療養中のところ御逝去されました。76歳でした。

吉江先生は、

函館支部創設者の故・加賀俊男先生に師事され昭和44年に道写協に入会。会友になられた平成5年までの26年間の成績は道展大賞を初め、大臣賞4回、入賞12回、入選46回。

全国のコンテストでも、フジコン特別大賞、各カメラ雑誌各部門の年度賞1位等、生涯受賞回数実に2、125回という驚異の結果を残されました。そしてこれらのコンテストで得た賞金は、25年にわたり北海道新聞社社会福祉振興基金に寄付を続けられました。さらに地域文化の貢献が認められ旧上磯町文化功労章、函館市文化団体協議会より青麒麟章及び白鳳章を受賞されました。

後進の育成に尽力された先生は、何時も真剣勝負、一写入魂を信条とし、指導は時に厳しくもありましたが、多くの経験と実績に基づく選評は実に説得力があり、時には辛口



「一瞬(ひととき)」 本人手焼きのモノクロプリント

ト ookも愛情故だったに違いありません。ユーモアにあふれ、いつも笑いの渦の中心にいらつしやいました。また、作品からは暖かな人間ドラマが感じられ、人々の涙や笑い声までも聞こえてくるようです。

病身の身でありながら、会員の指導や自身の出品準備に取り組まれ、50年の写真人生をほんとうに見事なまでに完全燃焼されました。先生からは限りある人生、常に本気であること、何かに熱く燃えて生きることの大切さを教えて頂きました。

私達門下生は、先生から学んだ写真の原点(心)をしつかりと伝承していきます。

ここに先生の辞世の句を記します。

「人生75年の夢乗せて出発進行 銀河鉄道の旅」(H29・11病床にて)

(門下生代表 石島 忍)

### 支部例会成績

#### 札幌 支部長 山本隆晟

- ▽12月例会(15日 森哲審査会員選考)
- ①脇田健司②飯高光紀③坂本千恵子④山形典夫⑤梅澤勇⑥安田敏彦⑦澤田一夫⑧渡辺勝⑨一戸健吾⑩難波江
- ▽1月例会(19日 谷口勲夫特別顧問選考)
- ①渡辺勝②林繁造③澤田一夫④松本雅彦⑤飯高光紀⑥浦崎毅子⑦梅澤勇⑧朝日均⑨朝日美幸⑩笈川浩一
- ▽3月例会(9日野勢英樹道新写真部次長選考)
- ①小賀野京子②安田敏彦③貝沼正雄④朝日美幸⑤飯高光紀⑥藤原富二夫⑦古川敬子⑧朝日均⑨山形典夫⑩林繁造
- ▽平成29年度賞①安田敏彦②林繁造③掛村一憲④澤田一夫⑤城伊志勝⑥渡辺勝⑦古川敬子・梅澤勇⑧山形典夫⑩難波江

#### 小樽 支部長 川原静雄



2月例会 1位「釣り師」カラー 嵯峨秋雄

- ▽2月例会
- (7日増田輝敏 審査会員選考)
  - ①嵯峨秋雄 「釣り師」
  - ②松居秀昭
  - ③根本辰男
  - ④一條周一
- 三笠 支部長 伊藤修身
- ▽12月例会(審査互選)
- ①②③古平文男④石橋昭次郎⑤⑥金武紀雄
- ▽1月例会(審査互選)
- ①③澤田住子②③金武紀雄⑤古平文男⑥高橋英昭
- ▽平成29年度賞①古平文男②金武紀雄③澤田住子④伊藤修身⑤高橋英昭⑥石橋昭次郎⑦河合外志⑧谷内純哉⑨上田進

#### 釧路 支部長 岡本雄毅



1月例会 1位「浜の朝」カラー 松坂正彦

- ▽11月例会(9日 高橋和幸審査会員選考)
- ①橋本憲②水谷博之③富田智春④鈴木啓司⑤松坂正彦⑥蝦名昇
- ▽1月例会
- (11日工藤勇 審査会員選考)
  - ①松坂正彦 「浜の朝」
  - ②蝦名昇
  - ③北構善一郎
  - ④林田定昭
  - ⑤長尾芳文
  - ⑥越田太郎
- ▽撮影会(10月12日足寄町オンネット)
- ①松坂正彦②長尾芳文③蝦名昇④中嶋淳一⑤松坂正彦⑥蝦名昇

#### 室蘭 支部長 佐々木昇

- ▽11月例会(24日 浪岡・佐藤審査会員選考)
- ①鳥海政史②田村謙次・柝元幸一③大坪恵子・成田正利(入選)田村謙次・柝元幸一・成田正利・太田秀樹・浦野進・今井富夫・山田しげき
- ▽1月例会(26日 中西勉審査会員選考)
- ①③成田正利②田村謙次・浦野進③鳥海政史・吉井良平(入選)浦野進・田村謙次・鳥海政史・太田秀樹・大坪恵子・森美津雄・今井富夫・尾形和雄

#### 岩見沢 支部長 山崎正義

- ▽1月例会(審査互選)
- ①②中川昌子②友広茂夫④鈴木佳夫④巖田祥健
- ▽2月例会(審査互選)
- ①鈴木佳夫②巖田祥健③伊藤博章④中川昌子⑤榎野紘一
- ▽3月例会(審査互選)
- ①⑤輪島礼子②友広茂夫③巖田祥健④山崎正義
- ▽2017年度賞
- 1席 中川昌子 2席 伊藤博章 3席 中神由美子 4席 友広茂夫 5席 巖田祥健

#### 余市 支部長 一戸弘利

- ▽12月例会(16日 審査互選)
- ①②石岡誠三②③一戸弘利③塩野謙造④谷橋誠子
- ▽1月例会(13日 審査互選)
- ①③塩野謙造②③④⑤石岡誠三④一戸弘利⑤青木延弘
- ▽2月例会(3日 審査互選)
- ①②③⑥石岡誠三②一戸弘利②⑤塩野謙造④⑤⑦青木延弘④谷橋誠子

#### 留萌 支部長 崎出恒夫

- ▽12月例会(10日 審査互選)
- ①③澤岡政江②④川上正己⑤加藤美佳・松葉師正
- ▽3月例会(11日 審査互選)
- ①澤岡政江②③④松葉師正

#### 恵庭 支部長 西澤 實

- ▽12月例会(11日 審査互選)
- ①佐野ミヨ②田中康夫③吉村登美子・五東建夫⑤吉村剛・中岡正美⑦坂田一紀・加藤憲秋・西澤實・菅原恵子・山下支朗
- ▽2月例会(12日 審査互選)
- ①西澤實②吉村登美子③佐野ミヨ④加藤憲秋⑤坂田一紀・村井正人・中岡正美⑧吉村剛・五東建夫
- ▽3月例会(12日 審査互選)
- ①吉村登美子②渚のpromナード②山下支朗・吉村剛・五東建夫⑤佐野ミヨ・西澤實⑦菅原恵子・加藤憲秋⑨田中康夫⑩中岡正美



3月例会 1位 カラー 「渚のpromナード」吉村登美子

#### 栗山 支部長 黒田幸則

- ▽1月例会(19日 山岸幸雄審査会員選考)
- ①齋藤優子②中島武士②③敦賀千恵子③③黒田幸則(入選)齋藤優子・黒田幸則・敦賀千恵子・志田静治・中島武士

#### 旭川 支部長 白鳥敏昭

- ▽1月例会(18日 田村健太郎審査会員選考)
- (特選)①③細川貞子②森田正義④吉田祥子⑤白田忠雄(入選)山本義則・白鳥敏昭・佐藤繁雅・小山満・武田千枝子
- ▽2月例会(1日 田本實審査会員選考)
- (特選)①山本義則②白田忠雄③吉田清治郎④小山満⑤細川貞子(入選)森田正義・吉田祥子・浦島寛・白鳥敏昭・宮野和子
- ▽3月例会(8日 福田光男審査会員選考)
- (特選)①白鳥敏昭②細川貞子③吉田祥子④白田忠雄⑤吉田清治郎(入選)浦島寛・山本義則・安藤定男・森田正義・宮野和子

#### 第65回写真道展巡回展日程

|                 |                 |                  |
|-----------------|-----------------|------------------|
| 岩見沢市民会館         | 6月 1日～ 6月 3日    | 岩見沢市9条西4丁目 1-1   |
| 室蘭市民美術館         | 6月 6日～ 6月 10日   | 室蘭市幸町 6-23       |
| 名寄市民文化センター      | 6月 12日～ 6月 18日  | 名寄市西 13条南4丁目 2   |
| 羽幌町立中央公民館       | 6月 21日～ 6月 28日  | 羽幌町南 6条 2丁目 16-1 |
| 別海町中央公民館        | 7月 12日～ 7月 15日  | 別海西本町 52 番地      |
| 釧路市生涯学習センター     | 7月 18日～ 7月 22日  | 釧路市幣舞町 4-28      |
| 三笠市民会館          | 8月 11日～ 8月 13日  | 三笠市幸町 13         |
| 蔵田夢内デザインギャラリー   | 8月 22日～ 8月 27日  | 旭川市宮下通 11        |
| 市立小樽美術館         | 9月 5日～ 9月 9日    | 小樽市色内 1-9-5      |
| 苫小牧市文化交流センター    | 9月 13日～ 9月 16日  | 苫小牧市本町 1-6-1     |
| 北網圏北見文化センター     | 9月 26日～ 9月 30日  | 北見市公園町 1         |
| 根室市総合文化会館       | 10月 5日～10月 10日  | 根室市曙町 1-40       |
| 函館市芸術ホール        | 11月 23日～11月 26日 | 函館市五稜郭町 37-8     |
| 網走市立美術館         | 12月 25日～ 1月 20日 | 網走市南 6条西 1丁目     |
| だて歴史の杜カルチャーセンター | 2月 1日～ 2月 7日    | 伊達市松ヶ枝町 34 番地 1  |

編集後記 第65回写真道展に入賞・入選された皆様おめでとうございます。この感動を忘れずにますますのご活躍をお祈りいたします。

道写協の発展と審査会をご指導頂いた志賀芳彦・土江和幸両先生がご逝去されました。生前のご支援に対し感謝申し上げますと共に、ご冥福を心からお祈り申し上げます。(森)